

会議報告書

令和2年 2月20日

部 会	記念事業部会	部会長	石嶋政博
-----	--------	-----	------

(1) 概要

議 題	在校生アンケートと記念事業案への意見交換
日 時	令和2年2月20日 午後7時30分～午後9時15分
場 所	峰山高校同窓会事務室（峰山高校校舎内）
出席者	石嶋・田崎・本城・森・安達・堀・今田事務局長

(2) 会議内容

事業部会経過報告

- 在校生アンケート実施について松下事務長と井上先生との協議（1/31）
（同日機械・繊維実習棟の改修工事の内容と現場の見学）
- 在校生アンケート調査回答受取（2/10）
- 今田事務局長より、募金状況の報告
募金額：6,729,802円 699名（対象約3.3%）

(3) 協議事項

①記念事業に関する在校生アンケート調査回答について（別紙一覧）

- 事務長との協議で事業素案提示ではなくゼロベースで記念事業についての聞き取りを行った
- 回答事業の77件中11件程度に「学食関連の要望」と「自習室等フリースペースの整備要望」があった。
- 素案で学食復活関連の事業は一定の要望があることが確認できた。また、フリースペース整備の要望についても、検討してきた事業素案の方向性はある程度合致するものと思われる。
- その他事業案が挙げられているので貴重なアンケートとして実現してあげたい

②記念事業案提案と意見交換

◎「学生食堂復活プロジェクト案（峰高キッチンカーで学生食堂の復活）」（別紙資料）

- キッチンカーの購入と委託による食堂業務の展開及び校舎のランチルーム等への改修
（想定経費：車両購入600万円、校舎改修500万円、食堂関連品購入200万円）
- 業務委託条件に週何日かに営業日を決めて食事提供で営業日以外は自由営業として業務委託して格安の学食運営を継続してもらえるようにする
- 購入車両は峰高キッチンカーとしてラッピングして峰耕のPRにも役立てる
- 車両の使用権を個人に渡すことに同窓会募金事業として疑問が残るので整理必要
- 昼食時間のみ提供で生徒への対応が可能か
- 校舎内での営業許可は、生徒等への「福利厚生」の観点であることから例えば安価な提供条件などがあるので、商売になるのかまた受託してもらえるのか課題
- 毎日学食提供となると、受託者は夜間などで飲食業をやっている方に限られる

◎多目的スペースプロジェクト案（峰高エリア100設置）（別紙資料）

- 機械・繊維実習棟の2階の広大なスペースの改修計画（視聴覚室整備）に沿って未改修スペースの活用で学生が自由に活用できる内部改修と備品設置
（想定経費：校舎内装改修500万円、椅子テーブル等購入500万円）
- 経費は募金状況によって増減や改修内容の変更は可能
- 視聴覚室の周りに空部屋もあるので、視聴覚スペースを中心に生徒が集まって憩える場所や同窓会エリア・小規模講演会など多目的に活用できる場所として整備
- 多目的であることから、昼食を食べる場所にもなるなど様々な活用可能な場所とする
- 現状の校舎整備工事とのタイアップして改修工事を行う

- ・峰高エリア 100 は仮称ではあるがいいね 「峰高エリア 100 ここから」としては
- ・このエリアに自動販売機をおいてはどうか
- ・自動販売機設置は業者入札のようなので管理等はその業者がするので・・・
- ・椅子やテーブルの購入も入札となるので業者選定をするだけで済む
- ・キッチンカー営業と合わせてランチルームとすることも可能では
- ・資料にあるような小奇麗なスペースとなればいいね
- ・周りの空き教室の仕切り壁を取れば広いスペースができる可能性もある
- ・一度現場を確認して改修展開などの参考にすることも必要では

③6月予定の2回目の募金案内への記念事業案の掲載について

◎募金活動に記念事業の具体的な掲載は必須である 常任委員会で2事業案の確認を得て掲載する方向で今後の検討を進めたい

- ・4月の常任委員会への提案と掲載内容はあまり具体的なものとはできないのでは
- ・2事業の方向性は当部会では一致した方向であることは確認する
- ・常任委員会で2事業を提案いただいて一定の了解を得て募金案内への掲載とする
- ・さらにアンケート調査結果を基に他の事業ができるのでは
- ・学校との調整が必要となるので事務長さんとの協議も必要では
- ・次回の部会には松下事務局長さんの出席をいただこう
- ・3月26日(木)に次回部会を開催する(松下事務長さんへ出席の依頼)

◎3月の部会では、2事業の課題抽出とアンケート回答に基づく事業提案による意見交換を行います。(同時に堀君から欠席者へ資料映像及び日程のライン送信完了)

掲載文案例

在校生の学習環境整備事業を大目的事業として具体文案を

- ①学生が集い・憩い・食せる多目的スペース整備等の事業
- ②学生食堂の復活と多目的スペースの整備事業
- ③峰高キッチンカー購入業務展開・峰高エリア 100 の改修整備事業
- ④多目的なエリア(集い・憩い・イートインスペース等) 関連整備事業

(4) 備考

記念事業実施の観点として、①創立 100 周年の記憶に残る②100 年からスタートで継続できる③事業実施安全と安心が担保できる④同窓生の負担感を持たせないの4点で検討することとした

この観点は、100 周年事業のコンセプトともいえるので、4月の常任委員会でのコンセプトとしての再確認をしてもらうことも必要と考える

コメント